学校番号	2002

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材ワークシート等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書活動を通して、書に関心を持つことができるようになり、感性を豊かにして美を追求できる探究心を育成できるようにしていきます。
・授業では、個人の制作だけでなく、相互批評やグループ学習、協働学習を通して、自主的に他者と関わっていくことができるようなコミュニケーション能力の向上をめざします。また、表現活動と鑑賞活動を並行して行い、各単元・授業ごとの作品やワークシートの記述などにより、資質・能力が身に付いているかを見取ります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解し、効果的に表現するための基礎的な知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、書の美を味わい捉えたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】
　主体的に書の幅広い活動に取り組み、書を愛好する心情を育むとともに感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、構想に基づいた表現の技能が身についている。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字の書［さまざまな線質による表現効果］	〈筆の呼吸を体感〉 ・線の種類 ①直線的と曲線的 ②太細の変化 ③墨の潤渇	a:知識 起筆・送筆・収筆のリズムの変化による緩急や抑揚を理解している。 自然な渇筆や墨継ぎのタイミングを理解している。 a:技能 空中での筆の動きが送筆の勢いなどに正しく反映され、筆脈を理解している。 b: 自身の感情に基づいた表現意図による筆の呼吸によって、表現している。 c: 自身の書いた線を繰り返し振り返り、筆の呼吸の改善に向けて改善しようとしている。	・ワークシートへの記述	・成果物	・取組みの様子 ・ポートフォリオ
		〈印の制作〉 ・名印種類 （朱文、白文）	a:知識 印による表現効果について理解している。 a:技能 印の素材を理解し、印を作成している。 b: 印の素材となる文字の形成を理解し、印面における構成について構想・工夫している。 c: 印の良さやその効果について読み取り、印作成に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシートへの記述	・相互鑑賞 ・作品	・取組みの様子 ・ポートフォリオ
		〈古典から学ぶ〉 ・楷書の古典臨書 ①直線的な楷書 「九成宮、牛橛」 ②曲線的な楷書 「顔氏家廟と雁塔」 ・行書の古典臨書 ①行書の基本用筆 ②造形変化 「集字聖教序」 ③太細の変化 「争坐位稿」 〈楷書・行書の創作〉 「最終学年の抱負」を作品に仕上げる。	a:知識 楷書や行書の書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 楷書や行書の古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 b: 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c: 主体的に楷書や行書の表現の特質に基づく表現の学習活動に取り組むとともに、楷書や行書のよさ、美しさを感受し、幅広い鑑賞活動に取り組もうとしている。	・ワークシートへの記述 ・作品	・相互鑑賞 ・ワークシートへの記述 ・作品	・取組みの様子 ・ポートフォリオ ・ふりかえり

二学期	漢字の書	・草書の古典臨書 ①卒意の書 「喪乱帖」 〈少時数創作〉 ・楷書、行書、草書のいずれかの書体を選び、コンクールに出品する。	a:知識 草書の書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 草書の古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 b: 主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 c: 主体的に草書の表現の特質に基づく表現の学習活動に取り組むとともに、草書のよさや美しさを感受し、幅広い鑑賞活動に取り組もうとしている。	・ワークシートへの記述	・相互鑑賞 ・作品	・取組みの様子 ・ふりかえり
	漢字仮名交じりの書	〈漢字と仮名の調和〉 ①線質の調和 ②墨量の変化 〈さまざまな表現技法〉 ・「いろはうた」による表現のちがいを考える。 ①線質 ②墨の潤渇 ③余白の変化 〈共同作品の制作〉 ・少人数のグループを編成し、グループごとに作品のテーマを決め、文章や紙面構成を考える。 ・漢字と仮名の調和をめざし、グループで草稿を考える。	a:知識 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 a:技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c: 自身の表現意図に基づく表現活動に主体的に取り組むとともに、漢字仮名交じりの書のよさや美しさを感受し、幅広い鑑賞活動に取り組もうとしている。	・ワークシートへの記述	・相互鑑賞 ・作品	・取組みの様子 ・ふりかえり
三学期	漢字仮名交じりの書	〈卒業制作〉 ・「高校三年間とこれからの自分へ」をテーマに作品を制作する。 ①自らの高校三年間を振り返った文章を考える。(淡墨) ②これからの自分へ贈る漢字一字を考える。(濃墨) ③軸装	a:知識 現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深めている。 a:技能 目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けている。 b: 主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求し、作品のよさや美しさを味わい深く捉えている。 c: 自身の表現意図に基づく表現活動に主体的に取り組むとともに、作品のよさや美しさを感受し、幅広い鑑賞活動に取り組もうとしている。	・ワークシートへの記述 ・作品	・相互鑑賞 ・作品	・取組みの様子 ・ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度